高齢者地域活動活性化基本方針としての検討

地域づくり

- (1) 高齢者の暮らし支え合い運動の仕組みづくり ワンコインサービス等による「生きがい就労」への取組
 - (2) 地域の諸団体との協働と連携の仕組みづくり
 - (3) 地域の中で自分の役割、ポジションを見つける

2 仲間づくり

個人の意識改革が重要=個から全へ 展開できる

- (1) 会員増強への取組
 - ・自治会の中に福祉部会、高齢者部会を作ってもらい、会員獲得につなげる
- ・ねんりんピックおいでませ!山口2015 地域文化伝承館をきっかけに 会員獲得 につなげる
- (2) 若手、女性会員の増強の仕組みづくり

男性は地域に入りづらい

- ・若手委員会(部会)の設置に向けての仕組みづくり
- ・若手、女性会員主体のイベント開催(活動の機会への参加)、サロンの活用
- ・くちコミ、声かけ、訪問活動
- 3 健康づくり

クラブとサロンとの違い(差別化)は何か

- (1) 適度な運動の場づくり
 - ・健康学習会の実施
 - · 運動会、体力測定等

健康度合 ニ 社会参加度合

- 4 生きがいづくり
- (1)「生きがい就労」の場づくり
 - ゆるやかに地域へ参加できる場所(地域デビュー)の提供
 - ・高齢者の能力や技術・技能の保存やそれを生かす場所の提供
- (2) 若手、女性向けの趣味やサークルの検討

老人クラブ = 地域づくり団体へと変えていくためには

会員増強につながる仕組づくり

地域包括ケアシステムの中での老人クラブ